

平成26年第3回定例会

一般質問通告書（質問事項要旨）

平成26年 10月9日
10月10日（3日間）
10月14日

南風原町議会

目次（一般質問日程表）

順番	議席番号	氏名	頁	質問日
1	5番議員	照屋仁士	1	10月9日（木）
2	12番議員	上原喜代子	3	
3	7番議員	浦崎みゆき	4	
4	1番議員	知念富信	5	
5	6番議員	赤嶺奈津江	6	
6	3番議員	大城勝	7	10月10日（金）
7	14番議員	金城好春	9	
8	9番議員	赤嶺雅和	10	
9	4番議員	大宜見洋文	11	
10	10番議員	大城毅	14	10月14日（火）
11	2番議員	新垣由雄	16	
12	11番議員	宮城寛諄	17	
13	13番議員	玉城勇	19	
14	8番議員	花城清文	21	

平成26年10月6日作成

□ 照屋仁士 議員

1. まちづくりを上向きに

[町長・教育委員長]

(1) 南風原町をつくるのは「ひと」だと考える。社会教育について問う。

①青年会をはじめ、女性会、老人会、PTAなどは地域活動の核となり、本町を支えていくのは社会教育と考える。各種団体を含め社会教育の現状はどうか。

②これから社会教育団体に対し、どのような支援をしていくか。

(2) 一番住民に近い地方自治は「自治会」にあると考える。自治会について問う。

①住民意思を施策へ反映させるあり方はどうなっているか。

②自治会に対する支援は十分か。

③今後、自主防災組織をはじめ、さまざまな部分でより自治会と連携を深める必要があると思うがどうか。

(3) 協働のまちづくりを掲げる本町において、新しい住民が町政に参画することが重要である。住民参画について問う。

①公募委員を募るだけでなく、新しい住民が自治会や各種団体でも活躍することも必要ではないか。

②全庁あげて新住民を含む住民参画が重要であるという意識で臨むべきだと思うがどうか。

(4) 町政の「見える化」には積極的に取り組んでいると評価する。今後もさらに推進することを求めるがどうか。

2. それぞれのくらしを上向きに

[町長]

(1) さざまな行政サービスを充実させ、より活用しやすくしていくことは当然の責務である。現状だけを良とせず、今後も絶えず改善に努めてもらいたいがどうか。

(2) 現場の声を施策にマッチングさせてこそ、課題の解決やそれぞれの発展が図られると考える。国や県の補助事業を有効利用することはやぶさかではないが、「補助ありき」になってはいけない。現場の声・課題を解決するための施策づくりに取り組むべきと考えるがどうか。

(3) 南風原町は今後も南部の交通の要衝として発展が期待される。「南風原町だから働きやすい」「南風原町だから住みやすい」といわれるような本町独自の施策が求められるが、そのように推進する考えはないか。

3. 南風原町を上向きに

[町長]

(1) 南風原町を今後も上向きにしていくためには、広く大きな視野が必要である。他市町村や国・県に学ぶだけでなく、私達議員、また多くの町内外の方々の提案、提言に耳を傾け、施策に反映させてもらいたいがどうか。

□ 上原喜代子 議員

1. 遠足コースの確立と観光資源の用途拡大を

[町長]

- (1) 本町で遠足コースとして具体的に活用している場所は何か所か。
- (2) 観光バス利用での来町者は平和学習が主となるのか。
- (3) 観光バス利用による来町者は増えて来ているか。来町者の推移を問う。
- (4) 観光資源としての古民家の修復工事等の進捗はどうか。
- (5) 古民家以外に一括交付金を活用し、観光資源として新規の事業計画はあるか。

2. 給食費未納は改善されているか

[町長・教育委員長]

- (1) 給食費未納者に対する取り組みとして、徴収体制に変化はあるか。
- (2) 給食費の高額未納者に対し、いつ頃からどのような措置を考えるか。

□ 浦崎みゆき 議員

1. 介護予防につながる支援システムの構築を

[町長]

(1) 高齢者の社会参加を促し、介護予防につなげる介護支援ボランティアポイント制度導入の見解を問う。

(2) 本町における認知症と診断された人数はどうか。

(3) 認知症の早期発見に結びつく「認知症気づきチェックリスト」の作成及び配布を行う考えはないか。

(4) 認知症サポーターの養成講座の開催によりサポーターを増やし、地域と関係機関、行政へ橋渡しができる仕組みを作れないか。

(5) 認知症予防対策として地元の福祉事業者と町民のマッチングを図るシステムが作れないか。

2. 教育支援員の体制について

[教育委員長]

(1) 特別支援教育支援員（ヘルパー）配置の現状と課題はどうか。

(2) 保護者、ヘルパー、教師のコミュニケーションが取れる体制は整っているか。

3. 平和と文化芸術振興について

[町長・教育委員長]

(1) 平成27年に南風原町町制施行35周年を迎えるにあたり、検討していることはあるか。また、町民参加型の町民音楽祭を行う考えはないか。

□ 知念富信 議員

1. 人口増への対応は

[町長・教育委員長]

- (1) 本町は年々人口が増えている。校区見直し等の議論はされているか。
- (2) 人口増加率で津嘉山小学校の生徒数と教室の空き状況を試算しているか。
- (3) 65歳以上の人口比率は県内でもっとも低いと聞く。今後ますます若年層が増えると思われるが、通院、入院のこども医療費無料化を継続できるか。
- (4) 津嘉山北土地区画整理事業で津嘉山区の人口増が見込まれるが、自治会を分離する考えはないか。
- (5) 自治会には加入率の問題がある。住民異動等の行政加入時に指導できないか。

2. 兼城十字路にモニュメント設置を

[町長]

- (1) 兼城十字路の工事完了が待ち遠しいが、交番所跡地を、花壇やモニュメント等を設置する考えはないか。
- (2) 役場前道路の植栽は道路完了後の予定か。早めの設置を要請できないか。

3. 南風原バイパスの進捗状況を問う

[町長]

- (1) 南風原バイパス、与那原バイパスの工事完了時期はどうなっているか。
- (2) 北丘ハイツ周辺の工事着手時期と新川十字路からの工程はどのようになっているか。

□ 赤嶺奈津江 議員

1. 高齢者や障がい者のための外出支援サービスについて

[町長]

(1) 現在LRTについての議論も活発になってきている。町長も今期の公約の一つに掲げているが、当町には公共交通であるバス路線がない地域もある。そこで観光客だけでなく、高齢者や障がいがある方に優しいまちづくりとして、外出支援サービスを行ってはどうか。

(2) 高齢者や障がいがある方々の日常生活をサポートする必要がある。社協で行っている巡回バスは対象や利用目的が限定されている。買い物や病院への通院、銀行等に行くために利用できるような外出サポートができないか。

(3) これまで対象を限定しない外出支援サービスについて検討したことはあるか。

2. 介護保険住宅改修の現物給付化を

[町長]

(1) 介護保険制度を使ったリフォーム事業があるが、いったん全額支払う等、利用者の負担が大きい。個人負担分だけの支払いだけで済むようにして、利用者負担を減らすことができないか。

3. 児童生徒の生活習慣病予防について

[町長・教育委員長]

(1) 昨今、生活習慣病の低年齢化が問題となってきている。そこで、小中学校でも血液検査などを実施し、生活習慣病の低年齢化を防ぐ、また、重症化を防ぐ対策として行えないか。

□ 大城勝 議員

1. 老朽化したトイレ設備の修理について

[町長]

(1) 照屋区の青年会館に付属するトイレは、くみ取り式で老朽化も激しく使用不能状態である。ここ数年の、綱引き人気で町外からの見物客も多い。そのときトイレが使えないのを申し訳なく思う。今後照屋区を地域おこしで内外へアピールするとき、訪問者にとってトイレの必要性は増し、早期のトイレ設備対策は急務である。水洗トイレ化して使える状態にできないか。

2. 食の応援事業について

[町長]

(1) 食と生活習慣病に関する講演会とパネル展示が文化センターで開催されたが、参加した町民の反応をどのように捉えているか。

(2) 健康レシピカレンダーが町民の女性に人気があると聞かすが、その活用状況はどうか。

(3) 食の面から取り組む健康づくりは、長年の個人の食スタイルを変え、健康への意識を変えることにもなると思うが、今後の健康づくりにどのように活かしていくか。

3. 長寿県復活へ向けた普及啓発方法について

[町長]

(1) 生活習慣病予防対策などの普及啓発に横断幕などを使用するとあるが、横断幕の設置場所、数、掲示期間などはどのようになっているか。

(2) 町民への普及啓発方法は横断幕以外の方法でも進めているか。

(3) 普及啓発活動をするときに情報伝達の仕組みが組織化されていれば事業の達成率が増すと思うが、町行政から町民までに情報が届くプロセスはどうあるべきと考えるか。

(大城勝議員 一般質問)

(4) 健康づくりをより普及させるために地域の応援スタッフの育成ができないか。

(5) 健康への意識をさらに高めるためにも全町民を対象にした意見発表会や講演会などを開催できないものかと思うが、町長の健康づくりに対する考えを聞きたい。

4. 全町民参加型運動会開催について

[教育委員長]

(1) 平成26年度の保健体育事業計画の中にあるウォーキング大会を、運動会形式にアレンジして全町民参加型の運動会ができないか。

(2) グラウンドゴルフは、中高年齢者のスポーツとしての位置付けだが、若年層の幼稚園児や、小学生との交流を通しての試合を町民参加型運動会の種目競技としてアレンジして楽しめないか。

5. 陸上競技大会の盛り上げについて

[町長・教育委員長]

(1) 町体協のホームページがあるが、そのサイトは十分に活用されて、競技大会プログラム情報などは町民にうまく伝わっていたか。

(2) 競技大会情報を発信するための横断幕の数、掲示の期間、掲示場所など、町民への周知方法はどうだったか。

(3) 昔の運動会は、今と違い字の対抗意識が強く盛り上がった。あの盛り上がりをもう一度と願う。多くの役員、審判員の協力もあり、それなりの経費を使っただと認識している。盛り上げる工夫を皆で知恵を出し合わねばと思うが、町長の姿勢を問う。

□ 金城好春 議員

1. 小中学校の学力向上について

[教育委員長]

(1) 南風原町の小中学校の学力テスト結果は県平均と比べてどうなっているか。また、全国平均と比べてどうか。

(2) 電子黒板を各学級に配置したが、児童生徒の学習意欲や学習態度に変化は見られるか。また先生方の電子黒板に対する評価はどうか。

2. 町道に「カンナの花通り」の愛称を

[町長]

(1) 本部公園前の町道6号線と町道29号線を「カンナの花通り」と名付けることはできないか。そのうえで第一団地前と津嘉山北地区内の中央線との交差点などの人の通りが多いの道路等に「カンナの花通り」と書いた立て看板の設置はできないか。

3. 南風原南インター十字路の安全対策について

[町長]

(1) 南風原南インターの十字路を右折する際、まちがえて相手コースに進入し、あわや正面衝突になろうとする場面を数回目撃した。あまりにも十字路の幅員が広すぎることで感覚が判らなくなるのではないかと思われる。右折コースに違う色の塗装や、矢印で誘導する等で安全対策をとれないか。

□ 赤嶺雅和 議員

1. 本町の都市計画と人口の影響について問う

[町長]

(1) 市街化区域と農業振興地域の人口に大きな開きがあるのは何が原因と考えるか。

(2) 人口過密地域は学校がマンモス化しているが、過疎地域は人口増が見込めないのはどう思うか。

2. 学力向上と教育環境について問う

[教育委員長]

(1) 例年、沖縄の子ども達の全国学力テスト結果は下位に甘んじているのが何が原因と考えられるか。

(2) 夏場の教室の温度は子ども達が集中できるような環境と思えるか。

3. 津嘉山駐在所の復活について問う

[町長]

(1) 津嘉山の区画整理事業の影響で津嘉山駐在所が廃止されだいぶなる。人口が増え商業施設が増える中、犯罪が増えているという声もあるが、今後、駐在所の見通しはどのような状況どうか。

(2) 今後、津嘉山駐在所を復活させる考えはないか。

□ 大宜見洋文 議員

1. 「はえばる町民大学」についての認識を問う [町長・教育委員長]

(1) 「はえばる町民大学」について第4次総合計画でも必要性が謳われている。第5次総合計画やまちづくり基本条例を絵に描いた餅にしないためにも、開催するべきではないか。

(2) 観光協会で掘り起こしている地域の宝である人財を、「はえばる町民大学」の講師に活用する事で、地域連携や学校支援事業とも連携できるのではないか。

2. 第一団地、第二団地の建て替えについて、町の対応を問う [町長]

(1) 第一団地、第二団地について県の担当課や住宅公社から、建て替えの具体的な情報は届いているか。

(2) 昨年施行された、まちづくり基本条例に沿った地域づくりとの整合性は取れるのか。また、現在住んでいる住民の課題解決が可能な設計への配慮がされているか。

(3) 建て替えによって具体的に次の事項の対応はどのようになるか。

①家賃や共益費の高騰

②独居老人や一人親世帯への間取り等の配慮

③日常雑貨販売店の入居等

3. 学童クラブの現状と課題について、翔南第二学童クラブ設置要望への対応を問う [町長]

(1) 学童における「小1の壁」について行政の認識はどうか。

(大宜見洋文議員 一般質問)

(2) 町立4小学校において、1学年から3学年の児童数、それぞれの児童数と全体に対する各小学校の割合はどうか。

(3) 学童クラブに通っている全体の人数と南風原中学校区と南星中学校区の2つの校区の割合を問う。

(4) 4小学校に対する割合はどうか。

(5) 特に翔南小学校区に学童クラブの増設が求められているが「翔南第二学童クラブ」を設置することはできないか。

4. 中央公民館まで巡回バスのサービス充実を

[町長]

(1) 社協で介護用巡回バスを実施している。社協との連携が可能ならば、巡回バスを中央公民館にも停まるルートと本数を増やす(中央公民館の閉館時まで)事ができないか。公民館、文化センターと新しくできた観光案内所の利用や特産品販売にも効果があるのではないか。

5. 中小企業振興条例について

[町長]

(1) 中小企業振興条例への本町の取り組みはどうか。

(2) 就農支援に対しては手厚い施策がなされている。ビジネス面においては、起業支援の施策としてどのようなメニューに取り組んでいるのか。

(大宜見洋文議員 一般質問)

6. 図書館協議会をもっと充実させて小さいながらも町内外に誇れる、個性的な図書館を [教育委員長]

(1) 現在の図書館協議会委員の構成はどうなっているか。

(2) 南風原町図書館協議会はどのような運営状況か。

(3) 現在、町立2中学校4小学校での読み聞かせに関わる町民の人数は何人か。

(4) 県内で学校における読み聞かせ事業実績は何番目か。

(5) 児童生徒の読書促進へボランティアで関わっている町民の皆さんの想いや日頃の課題解決のためにも、図書館協議会をもっと充実させるべきではないか。委員のメンバーに、せめて2中学校4小学校から1人以上に増員することで、もっと多くの意見や議論を深めて、図書館利用促進等の課題解決へ向けて協力して貰う体制づくりが必要ではないか。

7. 長堂川周辺住民から悪臭苦情について

[町長]

(1) 夜間に窓を開けると長堂川からと思われる悪臭が不快という声を聞く。しかも、不定期で、なかなか行政に連絡できないという。夜間の苦情への対応が可能な体制づくりができないか。

□ 大城毅 議員

1. 名護市長選挙に続き、名護市議選挙でも辺野古新基地建設ストップの市民意思が示された。政府は町長もその堅持を何度も表明した「普天間基地閉鎖撤去、県内移設断念」の建白書にも、民意にも反して新基地建設を強行している。町長の見解を問う
[町長]

(1) 名護市長選挙、同市議選挙の結果は辺野古新基地建設ストップの市民意思が示されたと理解すべきだがどうか。

(2) 政府の新基地建設強行は、建白書にも、二つの選挙で示された民意にも反するものだと考えるがどうか。

2. 11月の県知事選挙は、民意に反する新基地建設の強行を「ストップさせるか、許すのか」が問われる選挙になるが、町長の見解は
[町長]

(1) 11月の県知事選挙の最大の争点は辺野古への新基地建設を止めさせるか推進するかではないか。町長の見解はどうか。

3. 平成26年6月定例会で「認可園を増やすことも含め検討」との答弁があった。潜在的待機児童を含め保育できるよう認可保育園を増やすべきではないか
[町長]

(1) 潜在的待機児童を含め保育できるように認可保育園を増やすべきだがどうか。

(大城毅議員 一般質問)

4. こども医療費の町民負担を軽減するために県制度の改正を求めるとともに、窓口無料(現物給付方式)への改善を図るべきだがどうか [町長]

(1) 県への通院費の助成対象を中学校卒業まで拡大するよう求める取り組みの現状はどうか。

(2) こども医療費助成制度を行っている都道府県で窓口無料(現物給付方式)になっている都道府県の状況はどうなっているか。

(3) 沖縄県でも窓口無料(現物給付方式)を実施できるよう、県の支給要綱改正を求めるべきではないか。

5. 町内の経済振興にさらに寄与できるよう、住宅リフォーム助成制度の拡充を図るべきではないか [町長]

(1) 住宅本体に限らず、車庫や塀、外構などにも対象を広げてはどうか。

(2) 店舗の改修を対象にした制度も創設してはどうか。

(3) 資材、材料などの町内調達を促進する仕組みを取り入れてはどうか。

□ 新垣由雄 議員

1. 公園建設について

[町長]

(1) 現在、南風原町には、いくつの公園があるか。

(2) 現在、整備工事が行われているのは何件で、場所はどこか。

(3) 第3次総合計画の中で「一字一公園を目標に総合的、体系的な公園の配置計画を策定する事が求められている」と記されているが、一字一公園という目標に向けての取組はしているか。

(4) 住みよい環境づくりを進める上で、町民が身近な場所で、幅広い世代の交流を図り、健康づくりや青少年健全育成の観点と、北地区公共施設整備の観点から与那覇地域に公園が作れないか。

2. 与那覇地区の通学路の整備について

[町長]

(1) 与那覇401番地4から町道32号線、400番地3横に出る通学路は雨降りの後など滑ってころぶ子どもがいると聞く。危ないので整備できないか。

3. 下水道工事の進捗状況について

[町長]

(1) 下水道工事の町全体の進捗状況と与那覇地域内の進捗状況はどうか。

(2) 今後の工事予定は、どのようになっているか。

□ 宮城寛諄 議員

1. シルバー人材センターの設立を進めるべきではないか

[町長]

(1) 団塊の世代が定年を迎えて、まだまだ働き盛りの町民が多い。先輩方の技・智恵を活用することが、必要ではないか。

2. 小中学校の普通教室にクーラーの設置を計画すべきではないか

[町長・教育委員長]

(1) 教室は児童生徒の学習する場である。その中で温度が30度を超える教室があると以前報告されている。学校の教室は子ども達が授業に集中できる環境(温度)だと言えるか。

(2) 他の市町村と比べて、南風原の小中学校の教室の環境は授業に集中できる環境と考えるか。

(3) 平成26年9月26日付け新聞報道(琉球新報)によると、県内のクーラー設置率が小学校68%、中学校67.5%、高校97.9%で県立高校は平成27年内に100%になるとあった。県教育長は「クーラーの有無で学習効果に影響もあると思う」と見解を示している。これについてどう考えるか。

3. 北丘小学校の震災対策は十分か

[町長・教育委員長]

(1) 北丘小学校の新川側法面、運動場南側擁壁は耐震調査等を行っているか。

(宮城寛諄議員 一般質問)

(2) 同校は災害時の避難所となっており、町民の安全を確保するうえからも万全を期する必要があると思うがどうか。

4. ファーマーズマーケットについて

[町長]

(1) ファーマーズマーケットの現在の進捗状況はどうか。

(2) 南風原の伝統工芸品の絣なども販売する事ができるのか。

(3) J A組合員でない方の出荷はできないとあるが、できる方法はないのか。

5. 山川区内の安全対策を

[町長]

(1) 山川区内、国道507号と、町道28号線の交差する桁下の歩道に駐車が見られる。特に昼休み時間に多く見られるが、国道507号から町道28号線に降りるとき、見通しが利かず危険である。歩道に進入できないようにしてほしいがどうか。

□ 玉城勇 議員

1. 自治会の地域力を高めるために

[町長]

(1) 近年各自治会の運営状況について色々と厳しい状況であると話を聞いているが、町にはどのような情報が寄せられているか。

(2) 自治会加入率や例年行事運営進行状況等について確認した事はあるか。

2. 沖縄陸軍病院南風原壕群20号が荒らされた事件について

[町長・教育委員長]

(1) 平成26年8月1日の新聞社会面の記事で南風原陸軍病院壕のドアが壊され、荒らされている事件が掲載された。与那原署も捜査を進めているとあったが解決したか。

(2) その後、対策はどのようにしているか。

3. 幼稚園・小学校・中学校の給食費について

[町長・教育委員長]

(1) 南風原町で給食費を無料にすると予算はいくら必要か。

(玉城勇議員 一般質問)

(2) 現在の給食費未納についての徴収計画はどのようになっているか。

4. 国民健康保険税の未納(滞納分)の徴収計画について

[町長]

(1) 毎年未納金は減っているが、現状はどのようになっているか。

(2) 国民健康保険税の税収は年々増加しているが、特に滞納分について対策を考えているか。

5. 財政調整基金について

[町長]

(1) 南風原町の予算規模で財政調整基金はどの程度必要か。

□ 花城清文 議員

1. 新川から北丘小学校への通学路の進捗を問う

[町長・教育委員長]

(1) 平成26年度予算で新川階段の基本調査費が計上されている。調査の発注年月日とコンサル業者はどのようになっているか。

(2) 整備が完了するまでの計画はどうか。

(3) 工事期間中に仮設の通学路が必要と思うが計画はあるか。

2. 新川から北丘小学校への通学路の草刈りを問う

[町長・教育委員長]

(1) 新川階段は学校の敷地内である。通学路の管理に対し責任はどこにあるか。

(2) 新川階段の清掃は新川区民が行っている。もし清掃中に怪我した場合、その責任はどこにあるか。

(3) 通学路や法面は亀裂が入り危険である。その通学路法面の草刈りは町でして欲しいがどうか。

3. 兼城351番地付近の地滑りについて問う

[町長]

(1) 地域の番地は兼城だが、行政区は新川である。住民は亀裂が広がり心配という。地滑り対策後、状況の変化はないと言い切れるデータを明らかせよ。

(2) もう一度現場を調査し、必要な対策を講ずるべきと思うがどうか。

(花城清文議員 一般質問)

4. 幼稚園・小学校・中学校へのクーラー設置について問う

[町長・教育委員長]

(1) 県では2015年までに全高校にクーラー設置を終えるという。本町の幼稚園・小学校・中学校のクーラー設置率はどうなっているか。

(2) クーラー設置は児童生徒の熱中症対策や教育力を高めるために有効な手段という。本町でもクーラー設置をしてはどうか。

5. サッカー場の整備について問う

[町長・教育委員長]

(1) 今、もっとも人気の高いスポーツがサッカーである。しかし本町にはサッカー場がない。そこで那覇市と協議し、清掃工場で最終処分場として使用していた土地を利用し、整備してはどうか。